

## 「シャフリナウ郡における障がい者及びその家族を対象とした就労促進事業」

### 職業訓練センター開所式

9月17日、古田恵子大使は、日本のNGO「難民を助ける会（AAR Japan）」実施の無償資金協力「シャフリナウ郡における障がい者及びその家族を対象とした就労促進事業」（322,943米ドル）で建設した障がい者用職業訓練センターの開所式への出席のために、現地を訪れました。

関係者による歓迎を受けた後、式典では、日本側から古田大使に加えAARドゥシャンベ事務所・高島公美プログラム・コーディネーターがスピーチを行いました。タジキスタン側からヴァリゾダ・アブドゥコディル・シャフリナウ郡長がスピーチを行い、日本政府による支援に対する謝意が示されました。



式典の最後に裨益者からの発言があった後、大使は本事業で整備されたセンターの設備の視察に案内されました。本事業では、障がい者が経済的に自立した生活を営むことを目指して、縫製、ビジネススキルなどの専門技術を身につけられる設備を整備し、シャフリナウ郡の約380人が裨益します。

